



第4回 IT 創薬コンテスト

コンピュータで薬のタネを創る4

<http://www.ipab.org/eventschedule/contest/contest/contest4>

「薬を一つ創る」、このためには十数年に渡る期間と三千億円とも言われる膨大な費用が必要であるため、創薬のための新しい技術が世界的に模索されています。特定非営利活動法人 並列生物情報処理イニシアティブ (IPAB) では、コンピュータを利用したIT創薬を広く浸透させること、IT創薬の裾野を広げることを目的として、創薬プロセスの上流であるヒット化合物 (薬のタネ) の探索をテーマにコンテストを2014年より毎年実施してきました。今回のコンテストはその4回目になります。

参加費 **無料**

参加要件

1. 手法を英語または日本語で記述し提出すること。
2. 提出した予測手法, 予測結果, アッセイ結果の公開に同意すること
3. 論文執筆の際に協力いただけること
(匿名参加の場合は, 論文上では本名の掲載可否を選択できます)

参加登録/問題公開

2017年5月9日(火)

提案化合物の提出締切

2017年7月9日(日)

参加方法, その他詳細情報はこちらから

<http://www.ipab.org/eventschedule/contest/contest4>

【主催】 特定非営利活動法人 並列生物情報処理イニシアティブ(IPAB)

【協力】 東京工業大学 科学技術創成研究院 スマート創薬研究ユニット

【後援】 文部科学省、経済産業省、日本医療研究開発機構
他 (申請中)

【賛助企業】 シュレーディングー株式会社 **SCHRÖDINGER K.K.**
シュレーディングー株式会社

本コンテストは、大学生・大学院生・創薬に関わる研究者に、「自分たちで化合物を選択し、そのアッセイ結果が実際にフィードバックされる」という過程を経験して頂くことで、IT創薬に関わる人材の育成をしていくことを目的としています。

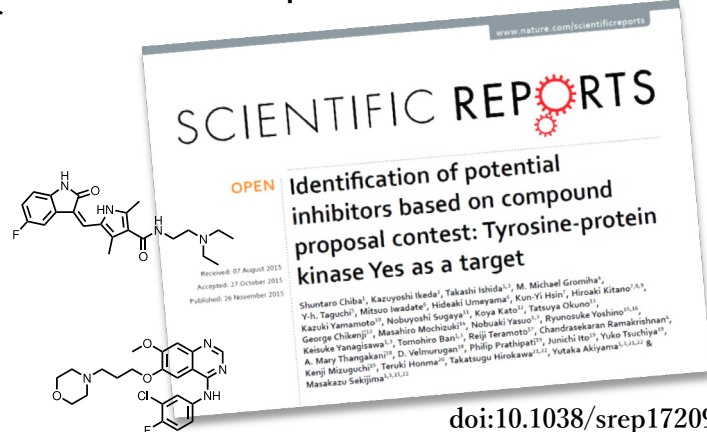
運営委員会

関嶋 政和 (委員長, 東京工業大学, IPAB理事・創薬情報WG担当)
石田 貴士 (東京工業大学)
大上 雅史 (東京工業大学)
吉野龍ノ介 (東京工業大学)

審査委員会

広川 貴次 (委員長, 産業技術総合研究所、筑波大学)
本間 光貴 (理化学研究所)
池田 和由 (慶應義塾大学)

当コンテスト第1回の論文が
Scientific Reports誌より出版されました!



doi:10.1038/srep17209

Initiative for Parallel Bioinformatics (IPAB)



特定非営利活動法人(NPO)
並列生物情報処理イニシアティブ

